

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査書

都道府県名	長野県	事業実施主体	川上村	地域再生計画名	インフラ整備を通して川上村の産業を活性化させ未来を創出する村づくり計画
計画期間	平成30年度～令和5年度	評価責任者	川上村長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	地域再生計画の目標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	目標	内容	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	目標1	林業生産活動の活性化	135,420千円	H29	164,170千円	H31	109,419千円	192,920千円	R6	289,064千円	○	3	3	カラマツの価格が上昇したことに加え、木材の搬出材積が増加している。
	目標2	高原野菜販売額の増大	172億円	H29	179億円	H31	171億円	189億円	R6	201億円	○	3	3	道路築造により輸送時間の短縮が図れたため、耕作面積や野菜の販売額が増額している。
	目標3	農業の6次産業の促進としての雇用増大	6人	H29	8人	H31	9人	10人	R6	10人	○			直売所での雇用だけでなく、加工場も含めた雇用の場を提供することにより、順調に雇用者数が増加している。
②事業の実施状況に関する客観的な指標（KPI）の実現状況	重要業績評価指標（KPI）		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況				
	指標1	相木川上線～国道141へのアクセス短縮	60分	H29	58分	H31	60分	50分		R6	50		-	道路築造が終了し、令和6年6月に左岸道路開通となった。農繁期の交通量は分散化され、指標目標は達成されている。 令和6年度は整備がないため、令和5年度までの実績。法面を改修し、道幅が広くなり木材の搬出量が増加した。概ね評価できる結果となった。 8月までの供給過多によりシーズン前半は低調な売り上げだったものの、市場より安く提供できたため9月は好調、10月以降は佐久穂町の道の駅への出品など販路も拡大し、野菜の相場を考慮すると概ね評価できる結果となった。
	指標2	林業生産活動の活性化	10,143㎡	H29	11,453㎡	H31	8,733㎡	14,449㎡		R5	14,069㎡		-	
指標3	直売所における販売額	7,501千円	H29	9,076千円	H31	5,802千円	12,080千円	R6	7,458千円	-				
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（R）	最終実績									
	地域再生計画に記載がある特別の措置を適用して行う事業	村道整備事業	1,570m	400m	1,570m	令和6年度へ道路築造工を繰越し、竣工となった。農繁期の交通量が分散化され、圃場と集荷場の移動時間が短縮したほか、農作物等の輸送時間も短縮されている。								
林道整備事業		355m	0m	308m	法面を改良し、材木置き場を確保したことにより、搬出できる木材が増加した。									
その他の事業	スマートアグリ事業	農業分野のIoT化の推進			農業のIoT化を行政として推進したことにより、現状に満足せずより品質の向上を求める農業者が増えた。川上村の農業の活性化へとつながっている。									
	直売所改修事業	6次産業の活性化を図る			野菜直売所のリニューアルを経て、商品陳列スペースが拡充された。直売所としてのイメージアップにつながっており、来客集の増加、川上村の高原野菜のイメージアップに寄与している。									
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	地域再生計画評価委員会を開催し、事後評価に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	川上村ホームページで公表。													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した村道整備と林道整備を実施した。道路事業では一部事業の繰越があったものの、新設道路開通を経て相木川上線から国道141号線へのアクセス時間は短縮され、農業をはじめとした産業の活性化が実現できたと考える。林業事業については、令和元年度台風19号災害の復旧に時間を要したが、カラマツの価格上昇と林道整備により、木材生産活動は活性化されたと考える。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、ほぼ円滑に整備が進んでいる。林道事業では、林道整備が進み目標の達成が見込まれる。引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。直売所の販売額など、天候等に左右されることもあるが、相木川上線から国道141へのアクセス時間短縮は観光産業にも影響が見込まれるため、村全体としての産業の活性化を推進していきたいと考えている。													